

第1号議案

NPO 法人エッジ 2024 年 事業報告書 2025年2月 16 日

1. ミッションステートメント

NPO 法人エッジは、ディスレクシア（読み書き困難）の方々が持つ「EDGE（エッジ）」を活かしながらも、適切な支援がなければ「EDGE（崖っぷち）」に追いやられてしまう可能性があることを認識し、活動を展開しています。私たちは、本人・保護者・支援者・教育関係者・社会の「ミカタ（見方）」を変え、「ミカタ（味方）」を増やすことを使命としています。そのために、社会啓発、本人・保護者のエンパワメント、支援者の人材育成、ネットワークの強化に力を入れています。

2. 2024 年の主要な取り組み

2024 年は、エンパワメントセンター構想の核となる 5 つの要素を統合し、相互に連携しながら展開しました。

1. 知る（啓発活動）

- ディスレクシアに関するセミナー・シンポジウムの開催
- SNS やメディアを活用した情報発信の強化
- 啓発イベントやワークショップの実施
- 10 月ディスレクシア月間 24、新たに JDD ネットが参加、参加者倍増

2. より深く知る（人材育成）

- 支援者・教育関係者向けの研修プログラムの提供
- ディスレクシアに関する専門的な講座の実施、テキストアマゾン出版
- 教材・ガイドラインの作成と普及
- e-ラーニングコース：新たにアセッサー養成講座開設

3. 分かる（相談・アセスメント）

- 保護者や当事者向けの相談窓口の運営
- 専門家によるアセスメントの提供
- 社会経済的に困難な状況の人たちへの集団アセスメント（パブリックリソースの助成）

4. 多様な学び（音声化事業）

- 学習支援のための音声教材の制作・提供
- デジタルツールを活用した学習支援の強化
- 音声教材の普及促進活動
- 民間テスト会社のテストの音声化

5. 当事者の交流（DX 会、NODE、K&T クラブ、メタエッジ）

- 当事者同士が交流できる場の提供

- オンライン・オフラインの交流会開催(12月22日三田図書館)
- 支援コミュニティの拡充

3. 2024 年の成果と今後の展望 本年度、NPO 法人エッジは、各プログラムを通じて多くのディスレクシア当事者とその支援者にリーチしました。特に、エンパワメントセンター構想のもとでの統合的な支援体制が確立され、啓発活動と支援の両面で大きな成果を上げることができました。

今後も、さらなる啓発活動の推進、支援ネットワークの拡大、学習環境の充実を図りながら、ディスレクシア当事者が自信を持って社会で活躍できる環境づくりを進めてまいります。